

数字を比べてみよう!

財政規模の比較(平成13年度 普通会計決算) 単位:千円

	秋田市	河辺町	雄和町	1市2町 合計
歳入総額 (住民1人あたり)	112,790,367 (355,105円)	5,377,158 (503,998円)	5,002,592 (598,969円)	123,170,117 (365,874円)
うち地方税額 (歳入に占める割合)	42,805,622 (38.0%)	892,984 (16.6%)	851,629 (17.0%)	44,550,235 (36.2%)
うち地方交付税 (歳入に占める割合)	20,401,372 (18.1%)	2,516,587 (46.8%)	2,160,710 (43.2%)	25,078,669 (20.4%)

※地方税 住民税や軽自動車税、固定資産税など、各自治体に直接入るお金
 ※地方交付税 国から各自治体に交付されるお金

いろいろな財政項目の比較(平成13年度 普通会計決算)

	秋田市	河辺町	雄和町	1市2町 合計
経常収支比率	79.3%	82.0%	85.4%	79.7%
積立金残高(千円) (住民1人あたり)	17,565,145 (55,302円)	1,151,474 (107,929円)	1,221,943 (146,305円)	19,938,562 (59,227円)
地方債残高(千円) (住民1人あたり)	132,375,946 (416,768円)	5,010,114 (469,595円)	5,972,706 (715,123円)	143,358,766 (425,844円)
起債制限比率	12.7%	7.8%	9.0%	-

※経常収支比率 収入に対して人件費や公債費(借金の返済)といった毎年必ず出ていくお金がどのくらいの割合になっているかを示す値。数字が小さい方が良い。この値が大きいということは、道路を造ったり建物を建てたりする自由に使えるお金が少ないことを意味します。

※起債制限比率 自治体の財政規模に対する借金返済の負担度を示す値で、総務省が地方債の発行を許可する際の基準となります。数字が大きいほど借金返済が財政を圧迫していることを意味し、20%を超すと地方債の発行が制限されます。

住民税

	秋田市	河辺町	雄和町
個人の住民税(均等割の年額)	2,500円	2,000円	2,000円
法人の住民税(法人税割)	14.7%	12.3%	12.3%
事業所税	課税	課税なし	課税なし
固定資産税(税率)	1.6%	1.4%	1.4%

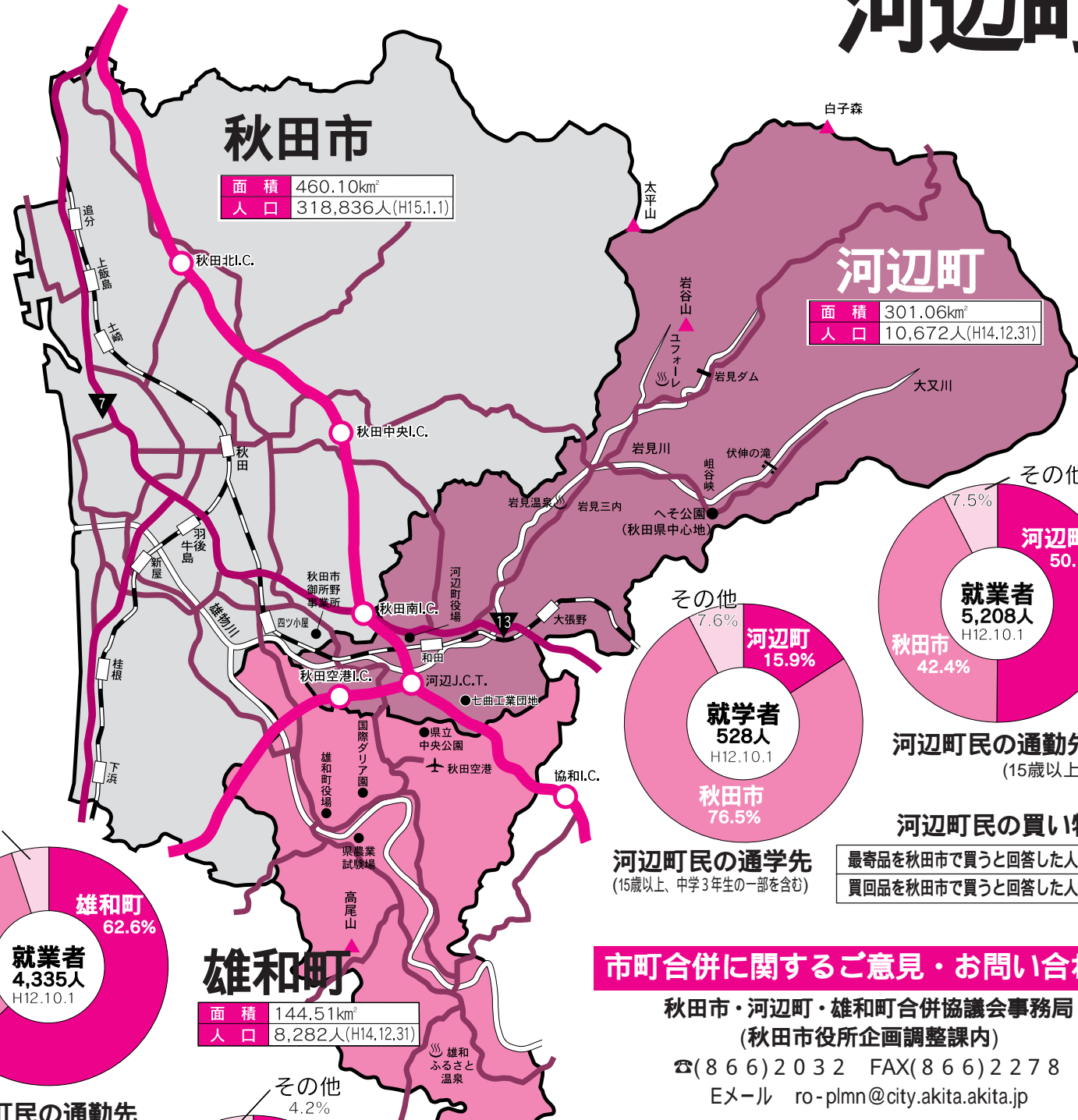
上下水道料金

	秋田市	河辺町	雄和町
水道料金(月10m ³ あたり)	1,312円	1,530円	2,310円
下水道使用料(月20m ³ あたり)	2,520円	2,250円	2,300円

水道料金:平成12年度秋田県水道施設現況調査 下水道使用料:平成13年3月現在

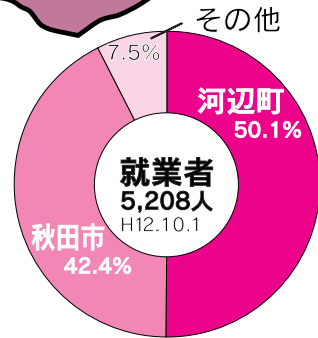
介護保険料(第1号被保険者)

	秋田市	河辺町	雄和町
月額基準額	3,453円	3,000円	3,400円



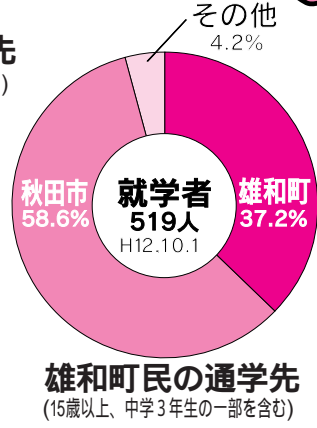
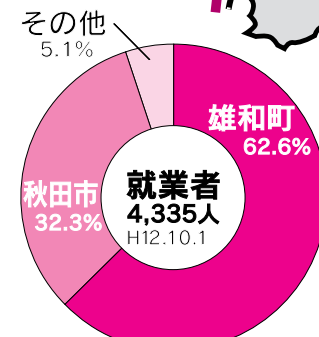
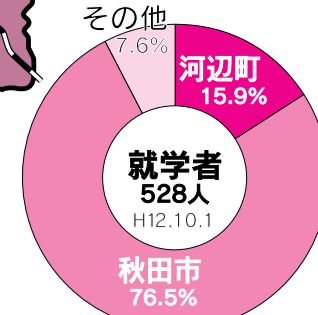
河辺町・雄和町との高い一体性

河辺・雄和両町とは、さまざまな面で一体性が形成されています。左の地図上の円グラフや表でわかるように、両町民の多くが秋田市を通勤・通学先、あるいは買い物先としており、その生活は秋田市と深く関わっています。



河辺町民の買い物先

最寄品を秋田市で買うと回答した人の割合	75.1%
買回品を秋田市で買うと回答した人の割合	94.5%



雄和町民の買い物先

最寄品を秋田市で買うと回答した人の割合	65.7%
買回品を秋田市で買うと回答した人の割合	90.1%

市町合併に関するご意見・お問い合わせ

秋田市・河辺町・雄和町合併協議会事務局
 (秋田市役所企画調整課内)
 ☎(866)2032 FAX(866)2278
 Eメール ro-plmn@city.akita.akita.jp

両町との合併を市ではどう考えますか?

秋田市が両町と合併すると、人口は約一万九千人(六%)増加します。それに対し、面積は約二倍に広がることから、投資効率の低下が心配されます。

また、左ページの表からわかるように、住民税の税率や上・下水道料金など住民負担に違いがあるので、合併の際には、これらすべてを調整し、統一していく必要があります。

両町は財政的に国への依存度が大きく、経常収支比率も高く、自由に使えるお金が少ない状況です。合併は、このような小規模自治体に見られがちな行政効率の低さを、規模の拡大によって解消するねらいもあります。

一方、合併による市域拡大は、行政圏と生活圏の一致や自然・人材・文化などの地域資源を増やすことにもつながります。例えば、秋田空港や高速道路など全国に向けた秋田市の表玄関が広がるほか、河辺町の七曲工業団地や太平山麓の自然、雄和町の県立運動公園や設置予定の国際教養大学などさまざまな地域資源が増えることとなります。

有形・無形の両町の地域資源を十分に活かし、市民のみならずとも知恵をしばって秋田市の既存資源と連携させていくことで、地域全体のさらなる発展が期待できます。

河辺・雄和町民の買い物先は、平成13年度消費購買動向調査の値。最寄品は、食料品、日用雑貨など。買回品は、電気器具、家具、洋服など。